

「安倍総理、ナジブ首相の計画を支持」（6面）

概要

- (1) 本日から訪馬する日本の安倍総理大臣は、1982年に開始した東方政策を前進させようとするナジブ首相による「セカンド・ウェーブ」の取り組みを支持する旨表明した。安倍総理は、弊紙に「東方政策が、今後も両国関係の基盤として長期にわたり機能するものとなるよう、我が国としても積極的に協力する考えである」との旨語った。日本の総理大臣がマレーシアを訪問するのは6年ぶり。「今次マレーシア訪問を通じて、経済、政治・安全保障、交流の各分野において具体的な協力案件を推進し、東方政策を基盤として発展してきた日・マレーシア関係を、「時代に即した新たなパートナーシップ」へ引き上げる契機としたい。」としている。
- (2) 安倍総理は、本年の日・ASEAN友好協力40周年を契機にASEANのみならずASEAN各国との二国間関係も一層発展させたいとの考えを表明。「ASEANとの間で関係を強化することは、それ自体価値あるのみならず、地域全体の成長を取り込もうとする日本にとっての利益でもある。そうした観点から、私はASEAN諸国を特に重視している。」とし、更に、「我が国は、2015年のASEAN統合を積極的に後押し、ASEAN連結性強化や格差是正に向けた支援や、災害管理、青少年交流等の分野で、具体的な協力を推進している。今後も、私がジャカルタで表明した「対ASEAN外交5原則」を踏まえ、ASEANとの関係を対話と交流を通じ一層強化していく。」と述べ、年末には日・ASEAN特別首脳会議を開催し、ASEAN各国の首脳を東京にお迎えすることを楽しみにしていると述べた。
- (3) また、安倍総理は、両国の相互理解を促進する観点から観光交流を重視しており、マレーシアの一般旅券所持者への査証免除を7月1日から再開した旨に言及。様々な取り組みを展開しており、より多くのマレーシア国民の方々に日本を訪問いただき、その美しい魅力に触れていただきたいと話した。
- (4) 弊紙より、日本そして世界は、今後、安倍政権にどのようなことを期待してよいのかとの問いに対し安倍総理は、大胆な金融政策、機動的な財政出動、成長戦略の三本の矢に言及しながら、「日本経済が縮小から拡大に転換していくことは、アジアを始めとして世界の成長に貢献すると確信している。」とし、「この「成長戦略」は、ASEAN諸国との連携を強化し、ともに成長していく施策も含んでいる。広域的な道路・電力網等のインフラ強靱化や産業政策等は、ASEAN共同体構築に向けた協力にもつながるもの。」と述べた。